

例年に見ざる 縣社大祭の盛観

境内の餘興を始め 懸賞假裝や奴行列

既報平町縣社子嶽神社大祭は十七、八の兩日執行される等であるが十七日には供進使參向祭儀執行を待つて境内には東京名歌舞伎芝居及び水戸大神樂の餘興の幕が切つて落され晝から夜にかけて參詣者の足を止めしめ翌十八日には四丁目青年分團奉仕の許に神輿渡

消防組員四千二百名 平町に參集して檢閲

歩武堂々たる統制振り 壯烈無比の分列式

平警察署管内三町十七ヶ村の消防聯合檢閲は本日午前八時より執行されたが同時に刻まで參集した消防組員約四千二百名が

到着順

基準として本町通北側に整列し小柳知事、歌川警察部長、各警察署長並に本朝此の檢閲を視察に来平した静岡縣沼津警察署長及同縣消防組頭十三名が整列順に人員、服裝機械器具等の

檢閲を

各消防組は續々八幡小路のグラウンドに向け出發し午前九時三十分より神谷、好間、平窪、飯野、内郷、赤井、下小川、上小川、湯本、夏井、高久、豊間、江名、

自動車粉砕

即死一重傷二

(若松特信) 若松市坂下町乗合自動車業山田惣次郎方運轉手渡邊正一(三)が昨日午後九時頃乗客三名を乗せた自動車運轉して同市川原町踏切に差懸つた際列車と衝突自動車粉砕し運轉手は即死乗客三名は重傷した

續いて

内郷、神谷、夏井、飯野、平窪、赤井、好間の順に整然として御筒

取扱を爲し次いで既記優良組員の表彰式、金馬龍授與式あり荒井平署長の適切な講評、歌川警察部長の消防精神に關する訓示、來賓大日本消防協會理事津沼津警察署長其他の祝辭

受賞者 總代内郷村

捌け口が杜絶し 大打撃の紹介所

各炭礦の従業員整理で 就職率次第に低下

平職業紹介所の本年度第一期(一月より三月まで)に於ける紹介成績は左の如くであるが財界不況の爲め就職率は次第に低下する一方

仙台に進出

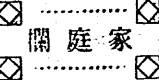
廿日株主總會

先に常磐沿線に業務擴張の大計劃を立て本縣に手を伸べ平銀行と合同した常磐銀行では徐々にその理想に向つて進出し今回更に福島市の山八銀行を合併し、福島市、伊達郡梁川町、同郡桑折町及び仙台市に支店を設け資本金を千四百十五萬圓に増すこと、なり三十日午後一時南町の同行内に臨時株主總會を開き承認を求むることとなつた



牛肉のたべ方

ゆでるには第一肉の養分を逃がさないために一かたまりの肉はまるのまま、十分沸騰してあるお湯の中に入れ一ポンドの肉ならば約四十分といふ、つまり肉の中ま



の温度が下つた時に肉を取り出し適當にその目的によつて、たとへば生醬油ばかり

石城消防協會 提出建議案

二件共に可決

昨日の縣下消防組頭大會に石城郡消防協會より提出した二件の建議案は井上平消防組頭説明の任に當り満場一致で可決された

明日の天気

北西の風 天氣益々よし

上水道擴張起債は 遅くも六月頃迄に 認可あるものさ観らる

平町上水道擴張工事の起債は四年度中は空宣傳に終り遂に認可を見るに至らなかつたので町當局も反對者のあるだけに幾分焦立ち氣味で三月末以來

再上京の 苦下あるが今後大なる支障なき限り五月下旬には完全に内務省の手を離れて大藏省に回附さるゝ事となるので五月中か遅くも六月初めには認可あるものと觀られてゐる

製作品販賣 建具指物組合にては

平町建具指物組合にては

獵銃同様に 届出を要す

従来、獵銃身の空氣銃は普通空氣銃と同様獵法違反とならなかつたが、農林省令により昨十五日より一般獵銃と同様の取締を受け

検査約半減

濱三郡の木炭

濱三郡木炭同業組合の調査によれば昭和四年度に於いて同組合が検査した俵数は石城郡六萬三千三十二俵、双葉郡四萬六千四百四十四俵、相馬郡二萬三千八百四十四俵、計十三萬二千八百三十四俵で前年度三十七萬二千二百二十四俵に比し十三萬七千三百九十俵の減である

貸付 小口信用 低利資金

損料貸ふとん 白銀町 柏木方